

やるなら楽しく！洋書目録

理想の自習システム

平成15年10月9日
平成15年度 第1回総合目録データベース実務研修
京都大学 筑木 一郎
成城大学 坂本 純子
関西大学 濱生 快彦

目的及び必要性

- NACSIS-CAT参加館の増加
- 人事異動
- 目録業務の外注化
→目録担当者のスキルの継承が困難
↓
自分で学習する必要がある

理想の自習システム(1)

- コンセプト
 - 洋書初心者向け
 - 自分で学習する
 - 「他館(よそ)に迷惑をかけず」「独力で」
目録業務を行う能力を育成

理想の自習システム(2)

- システム構成
 - オンラインによる学習システム
 - 補助教材
“Beginner's Tool Sheet for Cataloging”

“Beginner's Tool Sheet for Cataloging”

- 洋書目録作成に最低限必要な事項をコンパクトにまとめたもの
- 内容
 - WebUIPの画面
 - NACSIS-CATの記述方法
 - フィールド名の説明
- 通常業務にも参照可能

目録業務に必要なミニマムエッセンシャルズ

オンライン自習システムの仕様(1)

- 自習システムの4つの要素
 - 情報源
 - 書誌(修正が必要なもの、誤った例)
新規作成用フォーム
 - 自習者は、修正あるいは作成する事により学習する
 - 解答例
 - 解説

オンライン自習システムの仕様(2)

- 課題はPDFファイルで作成する
 - 他館との交換、頒布が可能
- 課題は誰でも登録可能に。
 - 個人、単館での研修を超えた充実を！
- 課題のレベルを設定
 - 課題作成者は難易度を5段階で設定
 - 徐々にスキルアップする仕組みを構築

オンライン自習システムの仕様(3)

- 多言語対応
 - 言語別に課題をカテゴリズ
 - 英語
 - ドイツ語
 - フランス語
 - その他の言語
 - その他の言語は登録事例の増加に合わせて独立させる。

利用方法(1)

- 自習者はツールシートを片手にアクセス
- メニュー画面からレベルを選択
- 情報源のページと①修正の必要な書誌情報
②新規作成用のフォームを開く
- ツールシートを参考にしながら、解答の書誌情報を作成・修正

利用方法(2)

- 解答例をみて、自分の解答と比較
→なぜそのような解答になるか考える
- 解説をみて、なぜそのような解答例になるか理解する
- 難易度の高い課題に挑戦することにより、次第にスキルアップ

実現に向けて

- 著作権処理
 - 情報源のコピーの公開
→研修目的の閉じたネットワークでは？
一括での著作権処理は？
- カテゴリー設定
 - 当面難易度と言語別
→自学自習に適したカテゴリーとは？

To be continued...